

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和元年6月17日

前橋市長 様

提出者

住 所 群馬県前橋市亀泉町甲3-12

氏 名 群馬県立心臓血管センター

院長 内藤 滋人

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 027-269-7455

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	群馬県立心臓血管センター		
事業場の所在地	群馬県前橋市亀泉町甲3-12		
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
	①	事業の種類	医療業 (P831 病院)
	②	事業の規模	病床数195床
	③	従業員数	450名



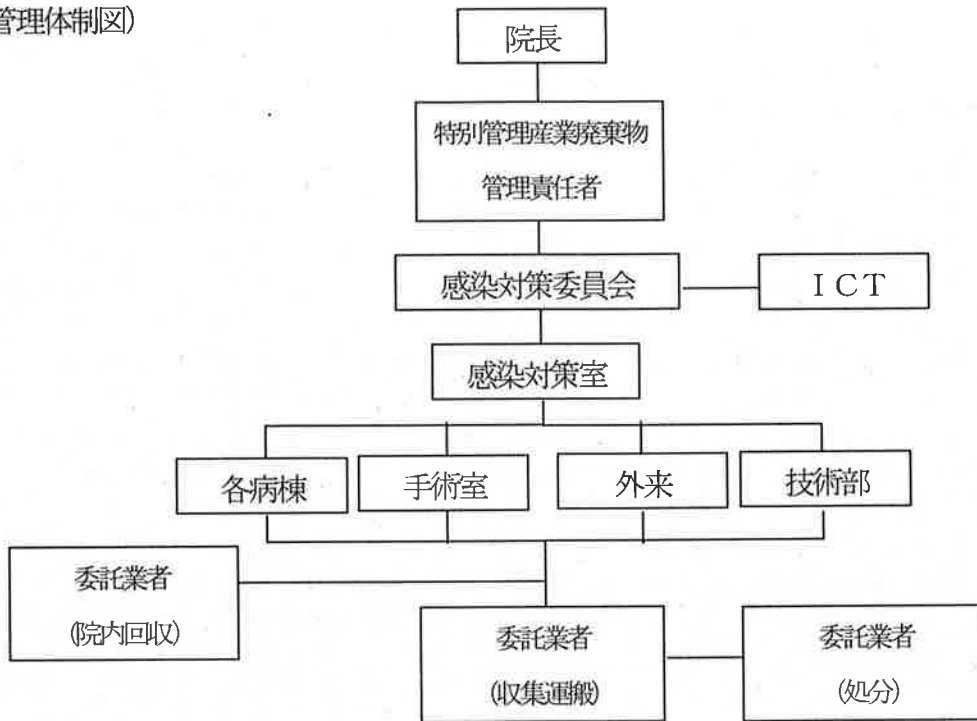
	④	特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	特別管理産業廃棄物 (感染性廃棄物) 発生 ↓ 感染性廃棄物保管庫にて保管 ↓ 収集運搬 (委託業者) ↓ 処理・処分 (委託業者)
--	---	--------------------	---

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



※ ICT…Infection Control Team (感染制御チーム)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (平成30年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	98.75 t	t
	(これまでに実施した取組) 一般・産廃・特別産廃を適切に分別することで、特別管理産業廃棄物の排出量増加を抑制している。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	95 t	t

	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>当センターは救急医療施設として24時間休み無く医療行為を提供しており、加えて循環器内科・心臓血管外科の手術・カテーテル等の件数が増加傾向にあるため、血液が付着したガーゼ等を大量に排出している。また、感染対策としてディスポーザル医療品（マスク、アルコール布巾、紙おむつ等）を多数使用する必要がある。これらは医療行為を行うことで不可避免的に排出されるため、感染性廃棄物の計画的な排出は困難である。今後も廃棄物を適切に分別することで、特別管理産業廃棄物の排出量抑制に努める。</p>
<p>特別管理産業廃棄物の分別に関する事項</p>	
①現状	<p>(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物と感染性廃棄物のゴミ箱を各部署に設置し、分別して廃棄している。 ・院内に対してバイオハザードマークの適切使用や感染性廃棄物の分別を文書等で周知している。 ・感染対策室や各病棟・部署のICT委員による定例的な分別チェックを行い、チェックシートを作成。ICT委員会開催時等に報告を行う。 ・一般・産廃・特別産廃の保管倉庫を別々に設けており、常時施錠を行って管理している。
②計画	<p>(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>今後も継続して分別管理を行う。</p>

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	t

	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	98.75 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	35.915 t	t

	再生利用業者への 処 理 委 託 量	98.75 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t	t
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>感染性廃棄物収集運搬・処分業務委託については、群馬県病院局総務課にて県立4病院を一括して契約締結している。</p> <p>焼却灰を溶融スラグ化後に破砕機を通し、人工砂（建設資材）等にリサイクルしている。</p>			

(第5面)

		【目標】		
特別管理産業廃棄物の種類	②計画	感染性廃棄物		
全処理委託量		95 t	t	
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	95 t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	95 t	t

	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今後も焼却灰の再利用をしている業者へ処理委託する等の取組を継続していく。</p>			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（平成30年度）実績】		
		— t	
	特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	— t	
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>電子マニフェストを導入する。</p>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理

産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

9 ※欄は記入しないこと。